

はらっぱ

令和5年11月24日
山形市立南沼原小学校
学校だより 第7号
文責：校長 石澤 友章



祝 創立119周年 ～新校舎で歴史をつないでいくこと～

11月2日(木)の全校朝会の時間に、119周年の創立記念式を行いました。式の中で児童代表の6年 神尾龍牙さんが、この学校の特色や歴史、今年度の学校や児童会の目標、そして6年生としての責任と決意を堂々と発表してくれました。

児童代表の言葉

南沼原小学校創立百十九周年おめでとうございます。
南沼原小学校は、県内で一番児童数が多い小学校です。そのため、たくさん仲間たちと助け合いながら勉強、生活ができます。

今年の児童会スローガンは「自分から あいさつ ルール思いやり」です。このスローガンを達成するために「あいさつ点つなぎ」「ペインとけ絵」「あいさつ隊」といった取り組みを実施しています。そして、学校全体のさらなるレベルアップを目指しています。これからも計画委員と代表委員が中心となってより良い学校になっていきます。

今年の一月から、ぼくたちは新校舎での生活がスタートしました。新校舎は旧校舎と比べ、いろいろな所がきれいになったり、全館冷暖房完備など、生活がしやすいつくりになりました。旧校舎で私たちを見守ってきた「ヒマラヤスギ」は無くなってしまうましたが、新校舎では「すずかけの木」が私たち一人一人を見守ってくれています。校舎は変わりましたが、この学校の伝統、校風は変わりません。これからも、この学校の校舎と伝統、校風を大切にしていきたいと思っています。

ところで、この学校は「はらっぱの学校」とも呼ばれています。明治時代、南沼原小学校が出来た頃、この地区は畑や田んぼがたくさんあり、現在とはまったく違う光景でした。その頃から「はらっぱの学校」と呼ばれ、今に受け継がれています。みなさんのネームにはマークがついています。これはこの学校の校章です。この校章の三角形は、南館、沼木、吉原の三地区を結び印であり、互いの地区の友愛と発展を表しています。また、地域社会、保護者、先生方への感謝の思いも表しています。それを囲む円は、円満と平和を表しています。この学校の歴史や多くの先輩方を敬い、感謝の気持ちを大切に日々を過ごしていきたいです。

僕達6年生は、あと五ヶ月ほどでこの学校を卒業します。この学校での思い出を忘れずに、残された時間を大切に使い、中学校へ向け日々成長していきます。

式の中で私は、昭和47年の学校文集を紹介しました。今から約50年前、児童数がまだ300名ほどだったこの年は、昨年度までの学び舎である旧校舎が新しく出来上がった年です。つまり新校舎に入った今の子どもたちと同じような状況にあった当時の子どもたちは、どんな気持ちを持っていたのかを伝えたかったからです。文集の中には、新しい校舎で学ぶ喜びと感謝、先輩方への敬意、そして自分たちもその伝統を後輩たちにつないでいきたいという思いがいくつもつづられていました。私はそれを読んで、その思いが現在の子どもたちにしっかりと引き継がれていることを感じました。伝統とは目に見えるものや形を引き継ぐことではなく、大切にしたいことや考え方をつないでいくことです。神尾龍牙さんのあいさつにはそのことがはっきりと示されており大変うれしくなりました。残りの日々をみんなで頑張りたいと思います。保護者・地域の皆様にも引き続き学校を支えてくださるようお願い申し上げます。



「いつもありがとう」の心を伝えよう ～感謝の会～

11月17日（金）に、「感謝の会」を開きました。お招きしたのは子どもたちの登下校の安全を守ってくださる交通指導員の方々とセーフティーサポーターズ、わくわくぽけっと（読み聞かせ）の代表の方々です。児童代表のあいさつに熱心に耳を傾け、「毎年もらうお手紙を何度も読み返して元気をもらっている」ということを感極まった声で話してくださるお客様。そのお気持ちに触れ、真剣な表情で受け止める子どもたちの姿。こうして、全校生が集まってこの会を開くのはひさしぶりのことですが、やはり直接、面と向かって伝えたり、受け取ったりすることで得るものは何かに代えがたいものがあることを感じました。どうぞ、これからも子どもたちのためによりよくお願いいたします。

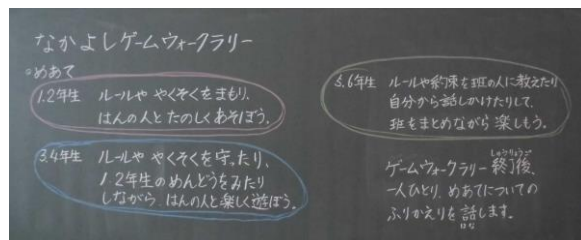


児童代表の感謝の言葉（計画副委員長 秋谷琉誠さん）

みなさんが登下校を見守ってくださるおかげで、いつも安全安心でいられます。また、普段は選ばないようなお話を読み聞かせしてくださり、新たな視点が広がります。みなさんのおかげで私たちは充実した活動ができます。これからも南沼原小をよりよいものにしていきます。みなさんもお身体に気をつけて活動して下さると嬉しいです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

楽しさいっぱい ふれあいいっぱい～ なかよしゲームウォークラリー～

校内に設置したゲームスポットをなかよし班（たてわり班）でウォークラリー形式でめぐり、遊びを楽しむ活動。昨年まではなかなかできなかった内容です。もちろん、子どもたちにとって楽しい「イベント」ですが、「ねらい」をもって行うことで教育活動としての価値が高まります。今回は、なかよし委員会が学年の段階に合わせて考えてくれためあてを確認し



て活動に入り、それに合わせて最後に振り返りを行いました。感心したのは、あれだけたくさん子どもたちが、班ごとに校内を移動したのにもかかわらず、大きな混乱もなくとてもスムーズだったことです。また、高学年は自分から下学年に、中学年も中学年なりに低学年のお世話をしようとする姿がたくさん見られました。もちろん、下学年も班の約束や上学年の話をしっかり聞いて行動することができました。子どもたちが楽しく、かつ価値ある活動を今後も大切にしていきたいところです。

PTA 学年行事 あいこうございました！

「ドッジビー」「ユニバーサルスポーツ」「おなか健康教室」「ダンス教室」「コサージュづくり」など、各学年の役員の皆様が知恵を絞り、企画運営をしてくださいました。平日の開催にもかかわらず、たくさんのおうちの方にご参加いただきましたこと、本当にありがとうございました。

※上記、学年行事はもちろん、学校の出来事や子どもたちの様子を本校ホームページ「はらっぱニュース」（随時更新中）で紹介しておりますので、是非ご覧ください。（QRコードをご活用ください）

